

期 中 の 評 価 個 表

事業名	国有林直轄治山事業 (復旧治山事業)	事業計画期間	平成 27 年度～令和 21 年度 (25 年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	只見川丸山 (ただみがわまるやま) (新潟県)	事業実施主体	関東森林管理局 中越森林管理署
事業の概要・目的	本地区は、新潟県南東部の福島県境を流れる阿賀野川支流只見川の^{あがのがわ}上流^{ただみがわ}(魚沼市)に位置し、平成 23 年 7 月の「新潟・福島豪雨災害」により山腹斜面において林地崩壊及び溪岸侵食が拡大し、崩壊土砂が下流の只見川まで流出する被害が発生した。 上流部に発生した崩壊地内には多量の不安定土砂が堆積し、降雨等による土砂の流出に伴い下流域に被害が拡大するおそれがあったため、平成 23 年度から平成 26 年度にかけて災害関連緊急事業等による山腹崩壊地の復旧と土砂流出の防止を実施するとともに、平成 27 年度からは山腹崩壊地の復旧及び流域保全を図るため、復旧治山事業に着手し令和 4 年度の事業完了を目指してきたところである。 その後、平成 29 年度の豪雨により土砂流出の発生源である上流部に新たな崩壊が発生したことから、更なる溪床勾配緩和による溪床の安定を図るため、溪間工 5 基を当初の全体計画から追加することとし事業内容及び事業費の見直しを平成 30 年度に行うとともに、令和元年 10 月の東日本台風の豪雨に伴う山腹崩壊地の拡大や周辺森林からの植生の侵入による自然復旧が困難な箇所も確認されたため、更なる事業区域の追加及び工種の変更を行う必要があり、当初の全体計画における事業計画期間の終期である令和 4 年度までに事業が完了できない状況となったことから、令和 3 年度に総事業費の変更及び事業計画期間の延長を行った。 しかしながら、その後の降雨等の影響により発生した多量の不安定土砂が上流部の溪床内に堆積しており、土砂の移動を防止するため溪間工の基数を増やす必要が生じたこと、また、近年の資材価格の高騰などの影響から事業規模や事業期間の見直しを行う必要が生じたことから、総事業費の増額及び事業計画期間の延長を行うこととする。 < 現行の全体計画 > ・ 主な事業内容 溪間工 5 基 山腹工 8.42ha ・ 計画期間 平成 27 年度～令和 11 年度 (15 年間) ・ 総事業費 1,293,463 千円 (税抜き 1,178,401 千円)		

	<見直し後の全体計画> ・主な事業内容 溪間工 7 基 山腹工 8.42ha ・計画期間 平成 27 年度～令和 21 年度（25 年間） ・総事業費 1,986,865 千円（税抜き 1,873,941 千円）
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	本事業の費用便益分析における主たる便益は山地保全便益であり、溪間工、山腹工の施工により、山脚の固定及び山腹斜面崩壊の防止を図り、流出する土砂を抑制する効果を算定したものである。 総費用（C）については、降雨等により発生した不安定土砂の移動を防止するため、溪間工の基数を増やしたこと、また近年の資材価格の高騰等により全体計画を見直した結果、事業費は増加している。 総便益（B）については、算定基礎となる各種単価の上昇により増加している。 なお、令和 8 年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。 総便益（B）2,399,026 千円（令和 3 年度の評価時点：1,586,552 千円） 総費用（C）1,784,284 千円（令和 3 年度の評価時点：1,112,275 千円） 分析結果（B／C）1.34 （令和 3 年度の評価時点：1.43）
② 森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	本地区の上流域には奥只見丸山スキー場が近接し、奥只見ダム（水力発電用）周辺は魚沼市における重要な観光地であり、只見川上流の重要な水源地として「水源かん養保安林」に指定されており、森林が持つ公益的機能の維持増進による流域保全が求められている地域である。 また、新潟県の国定公園である「越後只見国定公園（第 2 種特別地域）」にも指定されていることから、国土保全上も重要な地区である。 下流域には、福島県の会津地方を中心に流れる阿賀野川水系 1 級河川である只見川及び只見川上流に建設された大鳥ダム（水力発電用）へ至る唯一の管理用道路があり、只見川流域における水力発電専用ダムの維持管理のうえで重要な地区となっている。 なお、前回の評価時点から周辺の社会経済情勢に大きな変化はない。 ・主な保全対象：只見川（1 級河川）、ダム管理用道路、奥只見丸山スキー場
③ 事業の進捗状況	令和 7 年度末の事業進捗率は、今回の計画変更により 65.1%（事業費ベース）になる。 令和 8 年度以降は、引き続き溪間工及び山腹工の整備を実施し、令和 21 年度の工事完了に向けて計画的に事業を実施していく方針である。
④ 関連事業の整備状況	現在のところ、他所管と調整する関連事業はないが、本地区の下流には、大鳥ダム（水力発電用）へ至る管理用道路が位置し、維持管理の主体である事業者と相互に連携を図りながら効果的・効率的な事業実施に努めている。
⑤ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向	（新潟県） 只見川丸山地区については、平成 23 年の新潟・福島豪雨により発生した山腹崩壊地の復旧等に取り組んでいただいているところであるが、平成 29 年や令和

	元年の度重なる豪雨により、山腹崩壊が拡大している。また、これまでの降雨等の影響により発生した多量の不安定土砂が只見川上流部の渓床内に堆積するなど、溪流が荒廃している。当地区は、奥只見ダム（水力発電）や奥只見丸山スキー場にも近接し、県内の重要な観光地になっていることから、森林の持つ多面的な機能の維持増進が図られるよう、対策の継続と早期の完了を要望する。 （魚沼市） 本事業は、平成 23 年 7 月の新潟・福島豪雨において発生した大規模な林地崩壊及び溪岸浸食に対し、山腹崩壊地の復旧と土砂流出を防止する非常に重要な治山事業である。 本地区には奥只見丸山スキー場が近接し、奥只見ダム周辺は当市における重要な観光地であり、また、下流部の大島ダムへの管理用道路があるなど重要な地区となっている。 平成 29 年度の豪雨及び令和元年度東日本台風の豪雨に伴う山腹崩壊地の拡大等に対応するため、事業規模を増加した計画内容及び計画期間において実施いただいているところである。山腹崩壊地の復旧及び下流域への土砂流出防止・軽減のため、引き続き対策を講じていただくよう要望する。
⑥ 事業コスト縮減等の可能性	現地の土砂等を構造物の中詰材に利用した谷止工を採用するなどにより、工事コストの縮減を図っており、今後も一層のコスト縮減を念頭にいた事業の実施に努める。
⑦ 代替案の実現可能性	本地区における土石流等の山地災害を防止するためには、溪岸侵食・山腹崩壊の拡大を防止するための溪間工や山腹工を実施するとともに、森林の持つ土砂流出・崩壊防止機能を高度に発揮させる緑化等を一体的に実施することが必要であることから、代替案はない。
森林管理局事業評価技術検討会の意見	本事業の進捗により集中降雨等で荒廃した森林の再生が図られ、溪流内に堆積する土砂が安定化されるなど事業の効果が認められ、費用便益分析結果、地元の意向等からも事業継続実施が妥当と考える。 事業の実施に当たっては、経済性を考慮するとともに社会経済的な変化や気候変動等の自然環境の変化、地元要望を踏まえ、安全面にも考慮した上で工期の短縮に努めながら着実な進捗を期待する。
評価結果及び実施方針	・ 必要性： 本地区は平成 29 年度及び令和元年度の豪雨により山腹崩壊が拡大するとともに、溪流内に不安定土砂が堆積しており、今後の集中降雨等により、水力発電用ダムへの唯一の管理用道路や地元の重要な観光地であるスキー場への甚大な被害が懸念されること、また、事業継続に地元からの強い要望等もあり事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の土砂等を中詰材に利用した谷止工等を採用することによる残土処理作業の削減など事業地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討しており、費用便益分析結果からも事業の効率性が認められる。

	・有効性： 本事業による山腹工等の実施により、大規模な山腹崩壊地の植生の回復や溪床内に堆積する土砂の安定化など下流域の保全が図られることから、本事業の有効性が認められる。 ・実施方針： 計画内容を変更し事業を継続する。
--	--

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：只見川丸山地区

都道府県名：新潟県
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	164,982	
	流域貯水便益	28,128	
	水質浄化便益	122,197	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,083,577	
	土砂崩壊防止便益	142	
総 便 益 (B)		2,399,026	
総 費 用 (C)		1,784,284	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,399,026}{1,784,284} = 1.34$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{4,261,286}{1,768,245} = 2.41$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{5,961,054}{1,769,746} = 3.37$

評価箇所概要図

整理番号	
------	--

新潟県

事業名	国有林直轄治山事業	地区名	只見川丸山(ただみがわまるやま)
平成23年7月「新潟・福島豪雨」被災 			
復旧状況(令和6年) 			
復旧状況(令和6年) 			
保全対象(奥只見丸山スキー) 		保全対象(只見川(1級河川)(ダム管理用道) 	